

2021年(令和3年)12月16日(木曜日)

(5) 第5547号

油野・広島市下水道局長が講演

技術士会中国本部建設部会
中国地整は流域治水など紹介

日本技術士会中国本部建設部会／事業委員会は11月20日、第2回同部会講演会を広島市内で開催した。今回は広島市下水道局や国土交通省中国地方整備局などによる講演3題が、広島会場、島根会場とオンラインで行われ、合計約160人が聴講した。



約30人が聴講した広島会場

油野裕和・広島市下水道局長は「平成26年8月の八木・緑井地区における復興事業について(雨水渠築造工事の紹介)」と題して講演。平成26年8月の時間降雨量87mmの集中豪雨により、広島市八木・緑井地区で10カ所以上の土石流が発

生し、下水道施設7カ所が被災したことを報告した。

また、市街地からの流出雨水制御と、河川の流下能力不足を補う貯留機能を備えた雨水渠の設計概要とともに、雨水渠の施工では採用した泥水式シールド工法の概要などを説明。工事の進捗は今年8月中旬にシールド掘進が完了し、現在は仕上げのインバート打設を行っている。

美濃部雄人・国交省中国地方整備局副局長の講演「持続可能な国土づくりと社会資本整備について」では、流域単位で持続可能性の低下を最小限にする「流域治水」に向け、適切な情報提供とともに、今後の洪水対策では川に負担をかけない「受け流す」仕組みが必要と指摘した。